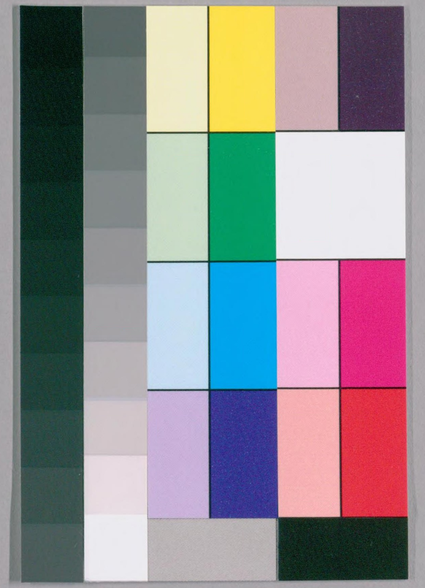

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12

ガラス使用

狗猫集題目録 二

煤部

初秋 第一　七夕 二　一葉 三

焼柳　秋蚤　焼扇

霧　雰　蘋

秋菜　草花　蒜

狗部　木槿　女郎花

桔梗　葉　蒿

葛　焼田　稲妻

虫　席　鶉

小鳥狗　久鳥　雁

鴨　澁船　礁

木実　月　名月 生十四日 同いさひ

62. 9. -7
87W36889

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

十三夜　菊　名紫
名木桂　名紫　紅葉射
茸　九月盡　雜姫

狗搗集巻第四

姫上
初秋

けひされおされそこちろけされ秋
よこなかりしは足もちやけさの姫　虚
鼻あきも立とハ志るや風乃者　同
風の神の袋の口やあきれそら　重頼

○七夕

七夕の雨とやこのゝぬこ乞巧奠
○　簀屋乃亭ゆく

七夕ゆふ七月のしちやうな　虚
七夕乃なかしとなまやよひの月　同
織女ハ織ゆふやゆく乃布　同

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

衣くハ其又七夕の手織か那 長吉
粉きハ綿衣笠のひかりかね 貞一
牽牛の舞り時あやうしの時 嘉彩

○一紫

一紫ともや蒔る末のかゝる秋の風 貞徳
一葉の毎の帆縄かいとやるの 正重
一紫といへともちるを不同が 安友

○姫柳

姫ハ柳乃気力落たるな 一正
秋風て髪そりこ目の柳かな 武重
清水ちるあらく
今夕ハ黄たむ柳や親世言 正重

○秋蛍

人まつ縄無聲にとふかたつ 徳元
蛍火や吹きの姫の風乃口 武重

○姫扇

秋さてハ雑しもひたり扇かな
きさや秋霧と扇乃無こゝろ 安久
姫風のさてハあしかまの別かな 一正

○霧

玉まつりせし夕に
袖よりやかゝりと霧の玉無 利清
遥吾に
無人の星ち離りや霧乃玉 長吉
只かけとやとゝ沖にかゝる霧の塩 玄札
芳乃たの霧やさう雨の脇ゝ雨 正重

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

○霧

伊勢信仰の人病気出後
の後まゐりて
雲霧はおもひ乃見やおいせ故 貞徳
雲天に立ハ地の志きりかな 宗鑑

○蘋

姫風乃定宿なれや蘋の葉 貞徳
蘋と松や草木の中風やこ 同
伊勢人まゐりし時
濱蘋といせ何とそひ松の志 宗鑑
杖きねと東南ゆゑ蘋の葉 同

○秋草

秋草ゆゑ蘋やけなかゝかゝ 鍾

武ちゆゑ
まゝ蘋や風もそしりむ事の遊
かしおくく人もらゐや大子草
何かなれと鐘にハ洗ぬち草の 貞徳
うゝかまて黄紫も見ゆり鬼前法元
あ狐かきかめく雲鶴のくみ草に 貞徳
あゝこまめの実に垂霧や 玉母 同
野人の杖も立てこかめんほひ草 宗鑑
大蘋乃ほとゝ海城も橘 同

○草花

秋の野や風に乱の花いくさ 貞吉
洗鷹桂てみよ山東の花 貞徳

○蘇

[illegible]

○朝顔

[illegible]

○末撞

[illegible]

○女郎花

[illegible]

○桔梗

[illegible]

○蒙

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

[illegible]人もかくらんけりけり 安友
[illegible]の花盤 正徳
風に霧ちらし小文の芳ちる海 政昌
秋風小腰をおらはなふもの 武全
面霧の悪れ礼紙の芳ちる海 良徳
黄紙はらんさくや実猟女 年軌
あらあ絶に咲やらんきて野人の秋 同

○薄

[illegible]とり[illegible]や[illegible]ん[illegible]薄 正利
[illegible]の[illegible]ひせよ[illegible]き 清一
花いくさとりしはふ野や[illegible]薄 正重
ぬる蝶や[illegible]花の袖のりんとこの 年軌

○葛

花よりやらふくとしの葛国子
丸き霧はんこれ[illegible]葛原 正徳
くてかめぬ人はらみよ葛さんこ 年軌

○秋田

くひにさそ田にくりるやまを[illegible] 正徳
[illegible]の田は[illegible]も拾地の[illegible] 安友
山田りの[illegible]は[illegible]こ[illegible] 同
かくぬ[illegible]ぬくひの山田[illegible] 徳元
刈[illegible]山田[illegible]の[illegible] 年[illegible]
[illegible]麻も[illegible]田[illegible] 武全
[illegible]かへ[illegible]そ[illegible] 同
[illegible]の[illegible]て田は[illegible] 正重
やまとこ[illegible]く

姫乃田ゑはまんおさいおさいが 宗教

○稲妻

稲妻の間をきこてやよづひ星 良徳

いろさゑも光源氏のこのかがれ 宗教

○虫

色きゑや雲に生ぬりむきりの

末も草も痛や秋の虫らひは

たてをりは鳴やむ程も雲ろが

姫虫乃青にをとるなよく川も虫

終虫の姫に海しらぬなまりが 良徳

清ゑさせとちくく鳴やきれも 同

或亭にて

姫ハ虫ぬゆや時雨のちんちろり 同

夕雲ゑに姫原ひてや虫の姫 利清

行秋にまりつき虫の姫も 一正

青きぬは地にあひ清くゝ 鳴虫 良徳

ちり木乃りとやこゝぐの秋の姫 利房

たて織りの是や海とふいと薄 聖

駒つなき姫に深鳴や 鳴虫 同

鳴虫にのまゐり雲ゑ乃ち草が 政道

○鹿

鳴ことをくいゐの中なり麻の姫

ういろとハふなゆるきをやしき姫

ふふりも氣の葉が鹿の上也 良徳

おきさゝハ粗しり人なりみちが 同

麻笛やこゝや清程のたゝ清くゝ 徳元

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

ふしさへやうらふと鳴麻の葉　同
月よ葉かそへんしらの十六夜　釈全
和紫を紙しらむ麻や糀と使　[illegible]

○鶉

今はいくとなけや[illegible]鶉
一葉にあまり尾もなれ鶉かな　[illegible]
語葉でも志くはらひと鳴鶉　同
鶉も[illegible]迷懐くらひと鳴ふら　[illegible]
[illegible]鳴[illegible]の尾に似ぬ鶉　[illegible]

小鶉鶉

居なるに[illegible]紙乃小鶉　[illegible]
何を[illegible]や[illegible]に乃り　[illegible]
数生紙[illegible]ハつゝなり小鶉鶉　[illegible]

○[illegible]

[illegible]乃[illegible]や[illegible]陵　[illegible]
錦来ハ[illegible]　[illegible]

○雁

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
月の[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

あききまゝ宮にも二季のひかん 同
落屋に会み
たくかんをあけ又とかの料理 宗義
宛先なるを様けきに好の為 同
らくかんの中に苦や毒乃為 同

○鴨

きく志きは大家人のけるなり 徳元
かりかひも後けん鴨のちかれ 休吉
よれ志きみきて形をや深へ 宗義

○渋鮎

けひ鮎の漸に分ぬきて心残り 光吉
落行は実やうれよれけの鮎 宗義

○碁

かく衣や青もかくく志こゝろち
こゝろにもうつ屋けいこの麻衣
ゆきてうけは仕立乃碁 鳥屋
さてよまゝよこゝちてうけ碁 春夏

○木實

けれ柔はうけなしれ木実 ことぶ
抱乃な残るや云柴の志んさ柿
忌てはな残ち栗れこのけ
大雪へいくれとうふまとさん柿
菓入るしてお菓子にもよれ栗 ちゃ
独し庭へ先山りしやくるこれ木
秀吉云君入之時 吉号
かくたちれちみは形をきあく

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

山かつも付てまゐらせや姫ゆるさ　純元
うき付てかゝむ事や名のこ　同
さぬきの国人ゆかりし時
和まてくふをやちぬき事は拂　点継
ちらつ程なるや正折なし乃枝　利清
おち椎は屋しなひ云のこやけり　一村
山里や宝さ木深何ち世拂　乃織
落椎は車座てくふお菓子　[illegible]
或人に返書に
あさはなし殆しはありけるの世界　同
九年毎や年二月ゆるれはふくろ　[illegible]

狗猫集第五

秋下

月

夜月を月笠乃内なし月の影
月ゆるのこと二九乃十八夜
兵庫あて
はゝ先なれ兵庫の月に姫乃ゆる
蝋燭屋あて
あらはれ山へいらう乃なられ
姫風ぬれはや月の太うちを
雲に歌風はお月乃味こうな
あちむさて入ぬる月や屋志さり
うをかしや金乃重の姫乃月

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

笠めれはをとらん為ゝ雲の月
祇るゝ所のやむは皇月のお生ゝ
山姫の姿ゝや月乃大かくゝ
出渡へまゝりてゝろふ
乃入さる年は
あらはれ海月や黒毎雲乃海
ゝ月みよと月も笠ぬく光ゝ
むらやゝ所なゝ月乃笠袋
ゝんこゝれるや出月の雲と雲
雲ゝ月をれんかうゝ桂のゝ
ひゝ付て入日の代ゝ三ケの月蘆
鉤付て意悲我ゝるや三ゝ月 日
雲ゝゝは孫雲やねらゝ月の弓 日

三ゝ月乃弓りてゝるやとりの日
天竜といふりや月の鬼の毛 日
雲は蛇音あむ月乃ゝ雲ゝ 日
月乃罰所ゝるやこゝに娘の風 日
皆人のひゝ孫乃こゝや秋の月 日
梵天乃まゝり焼籠ゝ雲の月 日
山乃たはお月のこゝめのゝんゝ 日
月乃よりも友ゝなゝれは志んこゝや 日
庭の水も皆白銀乃月雲ゝ 日
あらはらふ風や月のゝみとれ 焼
誰を秋の新をや胸よりら月 日
池月は何んとんきなゝ光ゝな 春
十五夜月よあらはらゝれを

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

むらのゝはまんはら月乃天麿が同

十五夜月蝕に

まん丸な月かれりられ夜食が 志友

金をなしいらはり月乃まとゐが 同

月と日はめくらは車とけいらな 同

半月は扇なりしか銀川 紫音

西へ行月乃さら我屋何ことかさ 同

ゐや久の和紫は月はちらが 紫甫

月蝕に

りら月は上戸ゆもよれ夜食が 同

二階座ゐめく月見に

三男も二階をてらは月ゑが 玄札

星ひとりはり月はめあれ 家姫

月は見世男見ひらく鏡なる 東久

あ乃月は此二川にのかゝみが 不東

狗計や目にはへらゆこゝれ月 同

うれおもや只女月はてつゞ 義淡

月星は天のとゝもれ金をが 同

いろ山はうはり月はまとゝが 雅

あに月天地和合のひらが 正次

なきは地の座から月を出あが 正友

初塩乃月は満雅は光り那 武清

三男を酒ちりこくれ月日が 雅康

月は目にめは月に入夕なる 正家

月や車めくゆも星し牛は 親星

月乃かゝむは蓮あそこの蝕 同

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

聟なりて三国一や宮乃月　同
あまけのこゝ小ハおよ月ハ毎　同
鏡あれ月を海しさう汀ゟ　袁
天衣ぬきたそ月乃丸たさう　盛
山乃頭乃ちゆひ忘りゟ三ケ月　盛
三ケ月ハちんしかつて鏡ゟ　同
山のたゝかうちきてれなりら月　同
宮ゝあれ魚釣針ゟ三ゟ乃月　同
忘なのへまうりし時
月も孤城ちしなし山乃くりゟ　同
十七夜ちゝ鏡ゟ
月ハ今そちゝ地出ん十七や　同
柄乃なき城ちゝとハゝゟ月ハさ盛

むらゝにかゝむや月ハ萬葉一正
長崎へ海ゟとて鏡崎ハ海上ゟて
月おくひこのなかや鏡ゟ崎　盛
山眉にかゝれゟ月ハめうゝゟ　武重
追善ゟ
西へ行月や弘誓ハ海しゆゝ　同
天乃原ゟ充満志ゟもら月ゟ　同
くりゝぬや月の鏡乃て下一　吉
池ようつゝお月屋なゝの底ん　同
万姥よまれ一灯ゟ魚乃月　寝
てハ原の菓ゟ鏡ゟ三ケハ月　同
西ゝ乃ゝ文月のひゝり那　遥
西のゝや笠めれ月ハくれ乃の　同

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

菊月の清かさうつかやし雲の星日
さよふかふ人海かりてく
月代ちこのうしろ男達の清光分日
横のこ月けしのわかしこ分雲
天人乃衣みかさうつ雲乃月日
月へてとも志そくの孤かな雲
ぬりあめのちたり月かのこの中日
白河城かふ雲あや雲の月氣
うつ男こひやうな射るゆ月何日
天衣みかく猿のさや三ケの月日
山のさや猿髪とな海夕月雲日
天上人俊せんとなれ月乃ふる日
底ゆそも日年一乃月雲の那日

満月ちうつ男の勇座かな日
梶丸ハ清らおとこう月乃ふる日
めふハみくくハ星ぬ物やりち月日
月待て
待人ハお新かふ月雲かな日
ゆこれのそり橋なまや三ケ月荒
名月付十四日付いさらひ
無庫めく
無玉の光や乃こ海名月女
十四日月のうはき雲に向ひて
りち月乃月こ越るやうは月
照月もおらひ越されの光かな日
のこ雲や芋明月乃衣かいき日

いけよひは或所へまかりけるに
人々双六越うちてゐられハ
うそやうそお月もお一十六夜 同
天ま名のうちは越とし[illegible]月皇
名月越むてんよりくれ面[illegible]
めい月乃伯父ハかつら男かな 体言
十四日に
およひより賢やいのれのりち月 [illegible]
月も名にいつかこ[illegible]越ぬけ 同
或酒屋にて
いさよひの月ハ斗樽のうみかな 重
或ちゆく
ちゆふつ月ハ[illegible]十六夜 [illegible]

茅屋子越うめハ三ゑ乃月よりハ[illegible]
名月乃[illegible]親かやいそしらる[illegible]
○十三夜
月蝕に
志よくれうや栗名月ハ虫くひ[illegible]
志こなうハ栗名月乃光か那 同
月およひ出てくひけりまめ男 [illegible]
りち月よりハ栗ハ木のたゝ[illegible]
二子なう栗名月ハ[illegible]も那 [illegible]
およひて月乃うつくやまめ男 [illegible]
くりなうやむ[illegible]九月乃十三夜 [illegible]
○菊
[illegible]となうや[illegible]菊のかち

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

おまへなちよ白花ハそよや白玉花

九日に

よそこもあうちくのや菊の花

花ハいつちりやたゝ里の菊草　益光

酔人やゆゝぬ口越もきく乃酒　雲武

せんさいにたゞ今や菊草　武吉

雲鶴や元に紀の望きさう菊の酒　吉長

垂霜に結白なれやきく の雲鶴　武鶴

祝云乃座殿にて

云ゝ代てゝ毎ませ垣乃きく の花　政昌

鈎毎に菊草の生てる越えて

花入屋二実ぬり毎乃菊草　長吉

芳香菊ハ千歳切に霜もとけ　芳愛

ませ垣ハ菊の旬ひ乃ふせこ　親重

摘袖の旬ひ乃玉かきく の露　同

狸くゝ乃礼となりやきく乃酒　同

山乃色て音や和人菊乃酒　同

花に称むり鳩蟠や菊の酒の酔　重

山口や漸音にせん菊の浩け　重勝

芳我菊の名や　為郎東菊　同

○久女葉

花乃久女ハちりぬる越和安の恨が

かけ子ともいふ鶴をちりぬるな蹇

花にまほどうなに中ぬんいろ　貞恒

山ちにいろをなくハぬまくも風　長万

ちりぬる越くハ飛ぶ此いろを　親重

雨玉川集 [illegible]

行秋乃いろとも遠よりの関 [illegible]

あく山ハ今ふ山ハてうういろとも [illegible] 正伝

ちりぬ里ハ山も所さきハい [illegible] 同

ちりぬるハ百五万乃い [illegible] 良遍

[illegible] 新勅

○名木紅葉

深まりて日よりく紅葉うえて [illegible]

深夜ハ洲さきぬるそのお葉乃 [illegible]

お葉まて又花紅葉ちりて [illegible] 貞徳

[illegible] 梅紅葉 同

なりもなのく所し 柿紅葉 同

ちりてみよ所さうお葉にかさも [illegible]

紅お紅ちりや蛇ぬけ紅葉 良云

楓ちへまりん深乃りみちりなり [illegible]

袖塀のぬいう折紅葉 [illegible]

蛇ぬけ [illegible] 同

[illegible] 正徳

[illegible] 柿紅葉 [illegible] 吉吾

河内玉錦 [illegible] 云 [illegible]

秋や実柿のお葉乃錦 [illegible] 貞徳

[illegible] 紅葉 [illegible] 新勅

○お葉

上戸下戸ましの座敷や村お葉

時雨さてうちのお葉や来ら [illegible]

山姫乃東まへ [illegible] 下りみち

秋田郡なる女あるじ下女
二方我昭うるえへお栄こよ
れ出でし時れきうきの中へ
りみちのくちうひろ
みなるせこのうれて
おもかてひくくるえれお栄小雪め
お栄くちぬ時うくえ小屋
えをくぬうあくよれ本屋小
酒や時あのおお栄ぬ今は」
山屋ちみよまて行合軒
失とうちお栄乃魚油うみ
姫風えくん山のうみさ
何をあくえや松一りみち感

お栄くくんく多人乃酒も
さうや山の婦乃ふも朱雲房
紅梨九婦ち若の戸姓ふみ
山ふも屋おえけうお栄屋
あくえう実山只まくりみち雲
高娘入屋ふうかみる体
多えてうくせ屋おれ
山乃猿の牡蠣粉樹こいお栄何
蕎もふみしけくまりみち
みよそもお栄や春ようまん一
松ふくり紅梨ふこうく多日れ寝
森の娘栗れおふや二主摩曇
ふ熊本ふお栄屋風松兵

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

虫くひ木枯木にまとゐや下お紫　年次

何りまゐなく

お紫ゑ八殻乃澄のきゝ人ゟ多　利屋

和州にて

及付ハなりつもくや手向山　正盛

お紫ゑや金行秋乃盃ゑやき　年次

○紅紫射

河音ハ時雨や深うりみち射　嘉

山海乃珍物なまゐや お紫ゑ多　同

汁にせてをの名越けお紫射　長吉

時雨にや海も河ゑハ お紫射　年次

○茸

ちゝとくおなめつしハ蔵茸　嘉

猫足乃脇あくくふや蔵茸　年次

○九月盡

屋敷にふきをはらはたゝれん殿の　先徳

○新秋

魚鳥跳踏に

すめハ草ゑこれハ野人乃河すき

猫迫門と云和あく

三川堀のうし猫せとや秋の海

申待に

ちゝハ秋をよそハ竜なし鳥ゆゑ

世上木ゑ雖とてあり行りれ

夕ゑりとゑ麻衣や木ゑりおとり

大口にまつるなむを海栗ハめし

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

芋乃子もなくらすいきの春波
清らや朝杖ゑ夕付来れたゆう
身にしむや香焼乃煙焼の風　優先
そこそ屋らすいきに芋ゑ子ゑ
百とせの姫おもに町おとりゑ
奇ハ沖ゑに町おとりや世おとり同
聚鼓うちておとりやなんのくり
後生まそ孫のも朝せり紀ゑ同
上京の霊祭にまゐりて
朝そそまゐり霊の氏子ゑ同
奥荒糸舎に座ゑく
亀井ろゑ麺乃さふゑ姫衣河
ゆるせゑにまゐりハ霊乃祝義ゑ同

名ハめしよ杖風まゐくおくゑ同
棚に霊ハ実蒲萄酒ゑ
身にしむとゑにあき風の秋ゑ
山暁と鶴にハ名にや新田雅
芋乃子も風や身にしむ衣
鞋波江にゑゆるや芋のかけ毎
文月乃晦日にてかしくゑ
くりまりや花むしさ紀乃まり衣
久々人ぬ姫雲乃来ハ貞女ゑ
南部ゑく
蔵柴ハいく九重そなるしハ同
ち鳴へまゐりし時ちく
せん乃ゑに白河ちゑ

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

小お樸乃あ海越きて
白河乃あハ公を見すまひ小 同
芦乃おハ人を様おのまゝ小 無栄

狗猫集題目録

冬部

初冬 第一　時雨 二　落葉 三
枇杷　冬桂　早梅
冬月　霜　霙
夜　雪　氷
鳥　鶯　網代
埋火　歳暮　朝冬

狗猫集巻第六

冬

初冬

天乃原も十月めふうむ小喜 小
年の内に初ちゝ越ひ小喜 小
いえ小ひ聚ゆかゝ名ゆ名ゆ名ゆ
霜月乃あるに付てやかゝれ月 同
薄くりり晴めや風の神無月 虚
霜ゆゝくふ風ふるゝん神なり月 玄札
雨雲へ乃降殘ゆいまゝ見ゆ神 聖
古る湯治之時
風くしたに紅や古る神無月 昨日
時雨

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

時雨行詞にや霜の無月何けし
十月の時雨のかりかれ
[illegible]
是ぞやさおとや時雨の先ぶし里 同
さつくふる紙やや板屋とゆふ時雨 同
滝音紀州 長行に
山焼の屋やしたれ乃山めくり 同
六条道場めく
時宗なれ時雨乃亭や雨やとり 同
雲の浪立とけしなりむら時雨 [illegible]
松笠のえりりの浪乃むら時雨 [illegible]
[illegible]
山なりとめくりしくる紙時雨の子 [illegible]

○落葉
木葉たの志るこかふ風屋大天狗
雨かくて時雨ふたる木のたれ
めきくと落葉は何紙神無月 [illegible]
冬ちらぬお葉や風かゆるし 同
ちり葉ハかい来れかしきお葉 同
ひなや 長行に
山紙にこな屋ぐさ行く木のたれ 同
木のたのちり穴なれや苔の屋 [illegible]
木のたの紙屋苺の衣乃ふかさ 利清
十月一日に
木のた衣にふかふ冬もきこそ 同
毛氈かちり葉山の八重の葉 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

桂尾乃山ちまゆらく
山ぞ末ぬるや高瀬夕時毎 宗教

○枇杷花

枇杷乃花実一面にありけり
蟬光や高に鎖たびまのたれ 宗教

冬桂

冬なから末へんに春の花ふり
冬咲かんし入るの桂の郷 如夢

早毒

梓弓ちる紙もまとゐ狩梅の
冬咲ハ季ちるひもとし梅花 宗恵
弟月にしせんとや咲花の兄 正恵

○冬月

たゝくひとかゝるそ月の水餅 宗恵
寒ありし志てくりや水のりち月 休意
そのうちやかゝ月とみかの宮 長吉
ろうおとこ法科志てやかゝ月 雲清

○霜

屋ゆふかゝも稀くおそ知や下腹
清ぬ鏡ひとく程ふの志りに 宗恵
生雪に皆塩ふるやけさの霜 同
白くなる霜や柄ちの豚 宗教
霜乃金柘の蔵紫や銀の針 下孫

○霙

葉のまゝふるや紙乃ふそれ酒
屋ゆも今ありけり越せるみそれ

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

くれんかや酒酒くれまふりこそれ[illegible]
坪の内に[illegible]みそれ[illegible]
天の[illegible]あま酒[illegible]
坪の内の松やみそれの酒[illegible]

○霰

[illegible]も酒[illegible]あられ[illegible]

くもしの[illegible]

氣のくもり丸[illegible]霰[illegible]
[illegible]
三寸[illegible]
[illegible]

霰[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○雪

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

雪さらやけなるまゝ花いくさ
雪乃日堺より京人のわかく人
まかくいひ侍り
雪みまくく袖忘ひもせ給京山
初雪も津まくく日物白京ハ白屋
給付り人をふまはやけさの雪 同
冨士ハ雪の一雪まてくり雪の山 同
まつりてい人も雪こうちしハ 同
雪折乃行袋ハなをせ藪くれ 同
感ふも名理そ雪か作り花 同
山姫ハかくひら雪袋かけなかハ 同
宮永七霜月晦日西山
給京行之時

市川紀雨うらハうちへ雪なとけ 同
九重もかくひら雪ハ一年代 堯
雪し雪の祿酒やかりかんぬ 同
初雪と光もいたらや若白髪 同
黄ハ何そ何ハ雪白髪鶴 同
古くれの雪なそうし鳩の枝 同
京西下向之時造ひ
まつりて侍り
ほりゆり雪や白ハ此かくみ山 同
鶴ふもまくけ給白し冨士ハ雪 同
雪やたく雪や白鶴衣ふしハ雪 同
武州 江戸みてく
武蔵野ハ雪まつりしか冨士ハ山 同

ふり海しは雪は霧やさみを繰物
松笠や苑笠となるは春の雪　貞一
雪はたらむ行やかなる本繰　永民
白繰ふなるは雪は一丸け　極撮
家なる城雪とやかんらんはなる繰　光書
簇やこの粉ぬ雪　雪乃山　正秋
踏ちらは人のこゝ乱んまつ春雪　永正
ふりうる海雪や蒼は粉ふしは山　安夏
山のこゝか二五一郎者し乃雪　同
よふしなやなる行となるはこの雪　武重

丹刻　おぬく

清きく城を清むさんとは粉雪　小庸
雪もいまいそうしふり城をもはる　同

光ふりぬうちにおかむや雪佛　素乳
面白と光やまつらそ行の雪　一正
枯木もや苑咲夫素雪なる　正信
あまれ雪石も百鳥は柳乃枝　同
苑といふ雪は答ふ玉あられ　同
雪ふきは蝸も鳴うむ玉　武重
繰まちり城清むかる雪　同
雪乃よは行もかうふく稼ぎ　同
ちぶりや日うけてあり雪は弁　同
菓は城風に吹まけ雪ちま　一村
雪やそやひく入てはりまり木腸　貞
浮鳴がありりや清む冥方は雪　正
山姫の絆苑なきやふく乃雪　先吉

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

奥荒氣無に

名におひてあやうしのみ[illegible]

山宮にふる薄雪や淳子紙　同

宮乃竹やうたひ雪の梓のさい　同

りち雪のふる雪におく日の風　同

雪けの新のうてまれ氷　同

なく人ぬりし時

佐保姫なほうたひ雪や淳さ　同

和山雪あく

雪にみよあれもしらぬの雪ぶ　[illegible]

梨もなくてりち雪のふるたち木　同

[illegible]出家乃肩にかゝりやうさの雪　同

江戸へまゐりし時冨士一見

冨士山ハ雪て[illegible]　年[illegible]

雪けも湖なとやふし乃山　同

雪ハ[illegible]人乃[illegible]　同

りち雪や木梨に淳しむ[illegible]　同

ふる雪ハ京をしろいとゝやこ　同

淳雪やこの[illegible]の[illegible]　同

○氷

[illegible]もなくて河津城ちる氷　[illegible]

極[illegible]に白[illegible]なる[illegible]

[illegible]乃[illegible]

[illegible]あやの[illegible]氷

[illegible]なくてこそ[illegible]河ちる氷

[illegible]晶て[illegible]池乃氷[illegible]

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12　ガラス使用

鯉乃鱗の膾もむすふ氷かな　同
鋼よりもかね乃切らるゝ氷かな　貞盛
鮒の住池ハ包て見れハこほり　同
腸かむ海老や氷乃くつくつれ　同
手桶よりも川にハ氷たしかな　同
鯵のあや流れてつりかな氷水　同
うなきも釣るや氷餅　光友
きさらきの志ハ軒も流れて置の川　村経
鮭の流れきてそハおる氷かな　淀一
霜柱川や氷乃おし流す　利清
小鮒めく
薄氷上ハ風もや紙屋河　徳元
志賀めく

さゝ浪はさちてハ志みぬ氷かな　同
とけかぬる茂藻やとちるかな　同
くゝ貫来りて
岩よりの流るゝや利剣不動坂　重継
瓔珞かちりて新め流るゝかな　遠秋
一の滝は滝乃声を遠す氷かれ　永治
ちふらはみゆく
榛沢乃ひきみかあれ風こり鮒　幸隆
瀞瀧めく
あれのよハ鼓乃瀧の祢にあ氷　唯雪
蓮池はいつふれんの厚氷　親重
泥ハそのまゝ鏡なれり氷かれ　同
池よりも家ハ少なれめくかな　一玉

あれあやにひのしはしは氷ハ成金
川ハ水一郡も浪乃清くしハ　年頼
あ馬

あ馬ハ其紙と又きくおしらハ
穀生紙ハもたくらハ破ふ馬
池あらて鉤ハまゝて鴨ハ
七条東洞ハ詠めく

廣き池の馬もとしらふれおかハ
雲ハそりとふ汁や子馬是　同
東西下向し時

あ馬ハ其ハや海乃矢ハ紀河地元
渓ハ深ハやはこの子馬ハ　同
あ馬ハ此ひ是もたくつべ　家熙

芦鴨ハ青ハ乃笛ハ稀とりハ　体者
あ馬ハ実ハいりのまくつまハ　夫友
鷺鷥乃ちひハ池のひる造　同
撥別　めく

誰とりもハ汁ふるまれん友もハ　雲年
むら薫乃ハしらや鷺ハ衆食　白蓮
ちしふこに子馬ハ紙鴨の山神ハ　長吉
海乃ハ夜ハ子馬ハすらり　同
鷺鷥ハ羽ぬきハやふれ食ハ　夫友
水馬ハ塩馬になりたまへハ　東一
あ馬ハ今ハ又なまや波乃あや　東一
うれおふむハ何ふすし子馬是ハ英
ま後ハ先鴨何まハ心もちとり　年頼

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

角田川一見之時

京に田舎力なりにまつや都鳥 同

○鶴

そい鶴は鶴場の鶴の第一が氏重

笠は鶴は羽絨乃しほきの掛物が 同

鶴鳥やおそれて通る鶴かな 鑑

○網代

奥荒参りし

衣河や鵜かまりなりしろりな 年頼

○炉火

手やけて火をそれ東を人のたくこと由之

重炭も皆せしなれ志ならば 宗次

宝かしてんゆるりれ重火かれ 年頼

蔵菅

もくもれは年々遠行の第が 茂夏

何けは美しくるく戸の一とのが 与繼

はりりこし年は鶴乃志ならば 徳元

それこ年人に屋ぬは志ならば 与屋

尾りちも法さてよろこふ蔵菅が 同

韋駄天もはまてめらなり年の 同

菅分れ東ふる面や思何らひ 同

行年乃やされには法く楯も遠 相清

菅分に門口もらふいとしかれ 与吉

ふけしなやらふてこよ人屋ならへ 年頼

雑冬

ぬ乃これ餅いとふとて

食ませて志るにやなるらん貴子餅
羽箒は実炭とりけれたりひ水
酒のめハかれ乃志ればやおちりめん
猿乃風まかしし志るぬ御祭水
箒まれ切清かれ乃掃地水 貞徳
或人ぬ乃時雪とあ御覧
とおけまし給ふに
時雪ぬ清くへし宝乃中 同
冬籠虫かくさもあなかしこ 同
僧正ぬ苔れ天狗やくらぬ御見人 徳元
白ほこハ鶴ぬけきれ毎とへれ 同
東西下こ乃弁あく
まくもるや雪汁まひて関ぬ東 同

吹けまれ酒やはれ河さの宝れ中 同
下りゆくさまに三鳩乃暦かれ 同
大鳳の雲風をしとう乃時 同
おりて白ぬ神ぬし女のをしやうに 貞徳
あかりは日こはまりしたりいさ 同
小雲に撰花咲ける紙にて
根汁ぬ枝ぬ二度かへりたれ 安友
かき雲や新乃うて来れ数数ふ 同
打くへて宝けれたちく風来ぬ 雲徳
あさへてハ冬されと紙云もなし 貞徳
とあへぬるしるやお入息御 同
咳氣して志たれぬるや嶽の 賛
年内立春云

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12
ガラス使用

国立国会図書館

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『狗[コ]集 17巻』 請求記号 WB1-12

ガラス使用